

U.S.Indicators

マクロ経済指標レポート

米国 製造業の拡大ペース急減速を示唆(05年4月NY連銀製造業景気指数)

発表日:05年4月15日(金)

~鈍化の程度は昨年のソフトパッチ時並み~

(No.U1-006)

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治(かつらはた せいじ)

(03-5221-5001、4518 : seiji@dlri.dai-ichi-life.co.jp)

NY連銀製造業景気指数の推移

	総合	新規受注	出荷	雇用	在庫	入荷遅延	受注残	仕入価格	販売価格	週平均就業時間
04/05	31.01	35.47	39.85	21.99	2.50	12.50	13.91	56.67	17.50	22.34
04/06	30.19	26.87	32.94	15.39	3.42	5.98	8.65	52.14	20.51	13.39
04/07	34.65	27.72	32.44	15.28	5.98	5.98	13.06	56.41	17.95	20.24
04/08	14.67	18.34	15.56	18.87	-1.61	3.23	-0.62	50.00	16.13	10.56
04/09	26.72	24.84	29.70	19.51	-1.63	4.88	9.24	52.03	16.26	16.25
04/10	23.75	22.06	22.34	16.33	1.67	4.17	0.45	59.17	15.00	5.89
04/11	19.78	17.52	23.15	9.63	0.00	-5.00	0.01	53.33	17.50	3.32
04/12	27.07	36.14	35.62	15.71	1.92	2.88	7.69	57.69	15.38	2.86
05/01	20.08	20.99	26.20	12.71	-10.92	-1.68	5.65	50.42	27.73	16.72
05/02	19.19	17.28	33.27	8.93	0.78	-1.55	-12.18	48.84	13.18	9.30
05/03	20.18	8.57	21.89	11.26	-4.55	4.55	-10.09	53.64	16.36	9.14
05/04	3.12	-0.22	0.03	8.57	-1.64	-2.46	-8.26	43.44	13.93	-4.38

NY連銀製造業景気指数(6ヵ月先予測)の推移

	総合	新規受注	出荷	雇用	在庫	入荷遅延	受注残	仕入価格	販売価格	週平均就業時間	設備投資
04/05	51.50	52.60	51.22	32.73	0.83	0.83	16.75	51.67	25.83	17.21	31.67
04/06	53.91	52.67	59.27	32.06	3.42	0.85	23.64	54.70	27.35	16.48	30.77
04/07	53.84	56.38	61.37	35.35	6.84	3.42	16.76	52.14	30.77	25.39	29.06
04/08	50.04	48.49	52.29	10.63	-4.03	4.03	4.15	53.23	21.77	13.35	20.97
04/09	60.21	53.38	57.70	26.74	-0.81	-2.44	15.49	61.79	27.64	17.80	31.71
04/10	58.90	56.50	55.67	33.60	0.83	0.00	14.37	52.50	34.17	21.83	31.67
04/11	52.36	50.12	50.62	22.84	0.83	-1.67	12.17	55.83	28.33	10.04	29.17
04/12	46.96	41.84	43.46	22.84	-3.85	1.92	7.01	62.50	25.96	5.11	25.96
05/01	42.16	49.07	47.67	22.91	11.76	0.84	12.82	55.46	35.29	5.12	32.77
05/02	40.01	39.94	41.17	26.08	-2.33	-3.10	-0.64	53.49	22.48	0.69	21.71
05/03	44.54	44.32	42.71	27.12	-6.36	-0.91	-2.17	58.18	30.00	9.50	32.73
05/04	36.81	33.75	34.62	21.65	-3.28	-0.82	9.26	52.46	23.77	6.31	30.33

前月比17.06ポイント低下

05年4月のNY連銀製造業景気指数(NY連銀管轄の地区の製造業の動向を示す)は、新規受注、出荷の大幅低下により3.12と前月比17.06ポイント低下した。下落幅は昨年のソフトパッチ時以来の大きさとなった。拡大縮小の分岐点である0.00を24ヵ月連続で上回ったものの、市場予想の18.0を大幅に下回りゼロ付近まで低下した。3.12というプラス幅は、イラク攻撃開始直後以来の低水準であり、同地区製造業部門の拡大ペースが4月に急減速したことが示された。

3月の小売売上高が予想を下回った後、4月の製造業景気指数がゼロ付近まで急低下したことから、市場では米国経済がソフトパッチに陥ったとの見方が強まっており、足元の停滞感を払拭するような統計が発表されるまで、10年債利回りは上昇し難い展開が見込まれる。ただし、ベージュブックでは消費者段階での物価安定と景気の堅調が確認されるとみられ低下余地は限られたものとなる。

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

NY連銀製造業景気指数の6ヵ月先予測指数が再び低下していること、新規受注が減少に転じたことから、NY連銀製造業景気指数が5月にゼロを割り込む可能性が高い。

仕入れ価格は低下したもののプラス幅が大きくコスト上昇圧力が強い状況

個別にみると、在庫指数が1.64とマイナスが続いたが、出荷が前月の21.89から0.03に低下、新規受注指数が前月の8.57から0.22とマイナスに転じ、受注残も826(1009)とマイナスで推移していることから、4月のNY連銀管轄地区の生産は拡大ペースが鈍化していると予想される。

雇用関連では、雇用指数は8.57と拡大・縮小の分岐点であるゼロを上回っているが、前月の11.26から低下しプラス幅も小さいことから、4月も製造業部門の雇用減少が続いている可能性が高い。

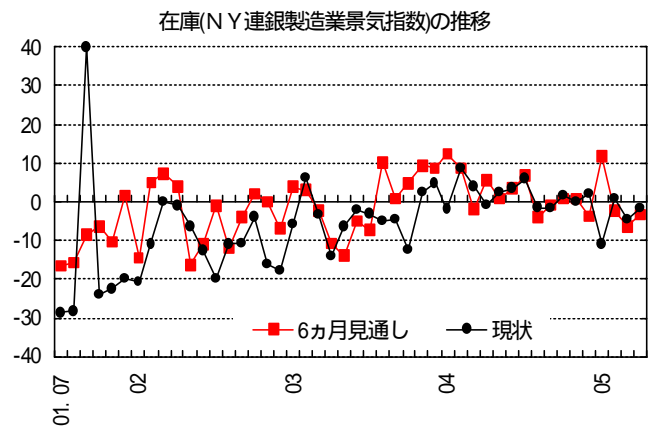
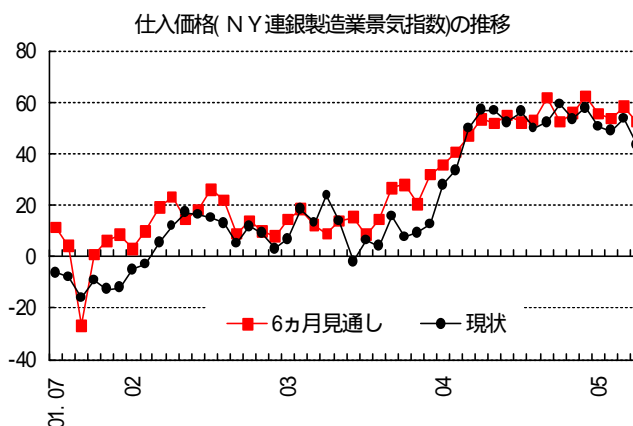
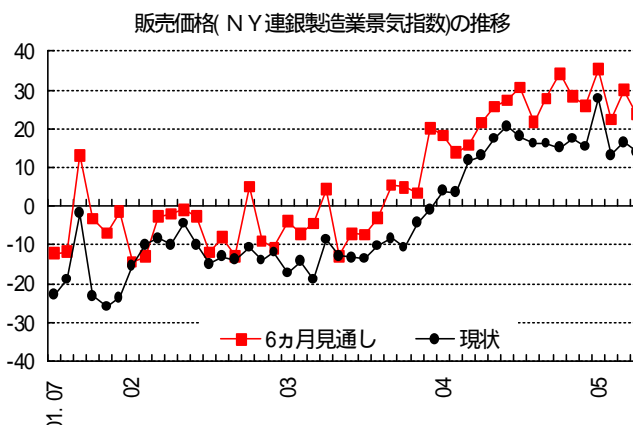
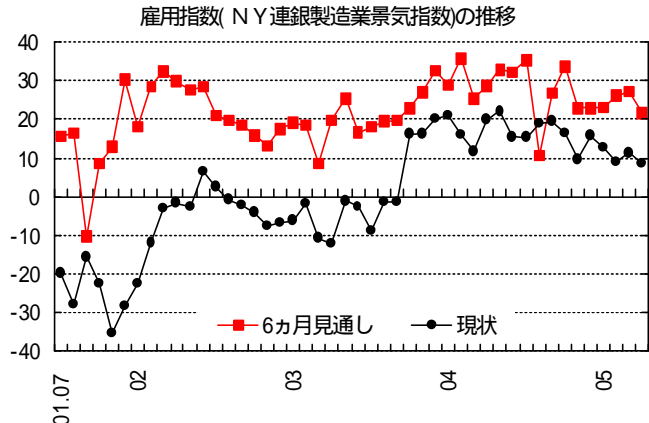
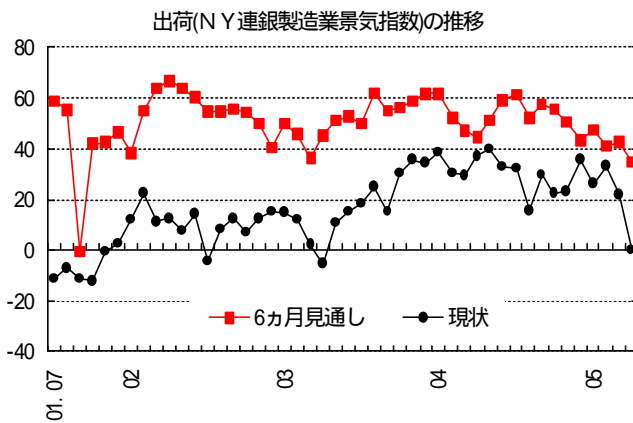
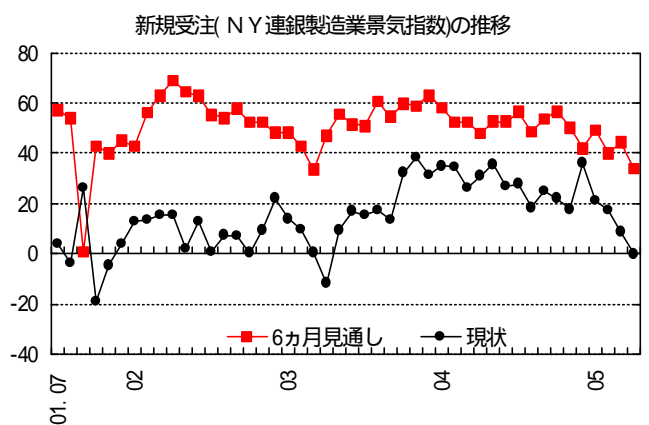
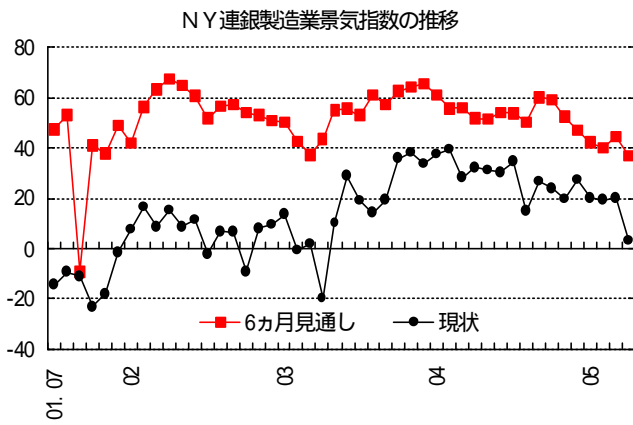
物価面では、仕入れ価格が低下しているが、プラス幅が大きく引き続きコスト上昇圧力は強い状況にある。一方、企業収益面では販売価格に対して仕入れ価格の低下幅が大きかったことから交易条件はやや改善した。

先行きの交易条件はあまり変化を見込まず

6ヵ月先予測では、仕入れ価格の上昇を見込んでいる割合と、販売価格の上昇を見込む割合が同程度低下しており、先行き交易条件があまり変化しないと予想している。このような交易条件の見通しの下、週平均就業時間のプラス幅、雇用指数のプラス幅がそれぞれ小幅低下していることから、製造業での雇用環境の回復ペースが抑制される可能性がある。

設備投資は目先堅調に推移

設備投資計画は30.33と前月の32.73から低下したものの高水準を維持していることから、企業は設備投資に前向きな姿勢を維持しているとみられ、今後も設備投資が急減するリスクは小さいと見込まれる。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。